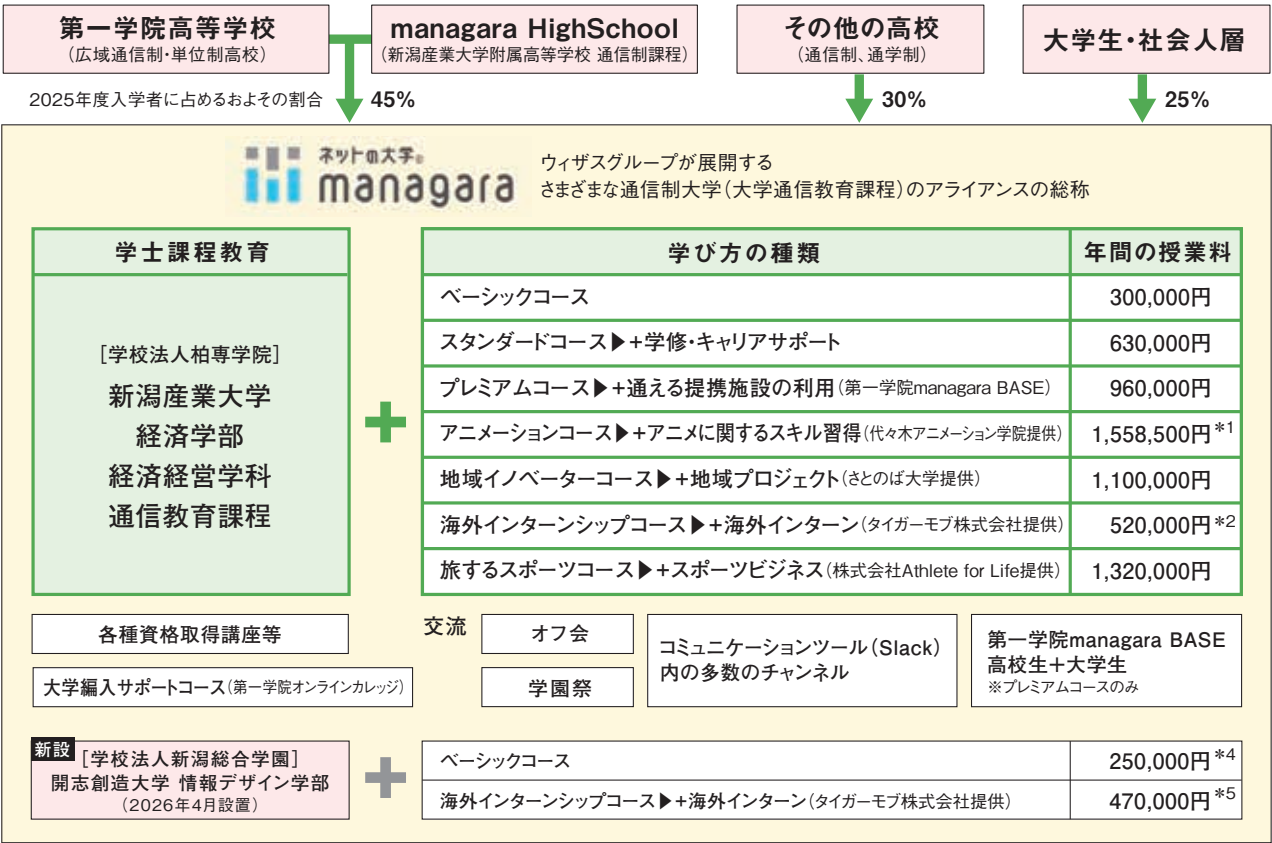




キャンパス／新潟県柏崎市 学生数／1,733人(通信教育課程：1,400人)
設置者／学校法人柏専学院 創立／1947年(1988年大学設置)
建学の精神／戦後日本の再建・発展と平和で幸福な社会の建設のために、若い人材を育成し、地域を支える人材を育てる
学部／経済
大学院／経済学

ネットの大学 managaraの学び



*1 アニメーションにかかわる学習は2年。3年目は300,000円 *2 オンライン料金。海外渡航の場合は630,000円 *3 2026年4月、事業創造大学院大学から名称変更
*4 ほかにシステム利用料、学籍管理料が計56,000円。先端ITコースは2年次以降、教材費が135,000円
*5 オンライン料金。海外渡航の場合は580,000円。ほかにシステム利用料、学籍管理料が計56,000円。先端ITコースは2年次以降、教材費が135,000円

学び“ながら”夢を追える 通信制高校との連携教育で起死回生

新潟産業大学

人口減少が経営を縮小させる中、再起を図る一手として通信教育課程を設置。
全国規模の通信制高校をはじめ多様な企業と連携し、教育に価値を付加する。

CASE STUDY



学校法人柏専学院 理事長
経済学部長

阿部 雅明

あべまさあき●1997年筑波大学大学院社会学研究科計量計画学博士課程単位取得満期退学。2004年ロンドン大学(UCL)大学院修士課程資源・環境経済学研究科修了。並行して1999年新潟産業大学責任。経済学部長、副学長等を歴任。2024年法人理事長。

教育コンセプトを表す ブランド名でスタート

通信教育課程の設置は、学生募集の危機がきっかけです。定員割れを何度か繰り返し、公立化は頓挫。てこ入れ策を模索する中、広域通信制の第一学院高等学校を全国で運営する(株)ウィザスと出会い、2018年に提携しました。同校には通信制大学への進学を希望する生徒が多いため、18歳が学びやすい通信制大学を共につくる構想を立て、経済学部の通信教育課程を設置しました。

通信制は募集エリアを問いませんが、大学名に「新潟」が付くと地域色が強く出るため、「好きな場所にながら」「何かをしながら」でも学べるという意味を込めた「ネットの大学[®]managara」という別ブランドを打ち出しました。^{*1}managaraの学びは原則オンデマンド授業で、通学不要です。必要な支援や獲得したい経験・スキルにより、1年ごとにコース(左ページ上参照)を選択します。例えば1期生のある学生は、2年次まで地域イノベーターコースに所属し、各地の町おこし等に從事した経験を武器に、熊本県の財団で働きたい卒業生をめぐっています。

卒業単位に算入される科目やその成績管理等は本学教員が担当。一方、オンデマンド授業の撮影支援、スタンダードコースに付くスタディコーチ(担任)の手配、各コースの提携先との橋渡しなどはウィザスが受け持ちます。入学定員300名と通信制としては小規模ながら、設置以来、定員充足が続き、経営も改善傾向にあります。

特色を際立たせて オンリーワンの通信制に

高卒ストリート進学層中心の通信制大学の課題は、卒業後の就職です。学生だけでなく、その保護者にとっても重要な「出口」支援は、責任を持って行います。企業が不安を持つのはコミュニケーション力。そのため、managaraでは対話の機会を豊富に設けています。グループワークを授業に採り入れ、会話は^{*2}Slackを使用。

教員と学生が話す科目ごとのチャネルに加え、学生が困りごとを解決し合うチャネルや、趣味・年代別に分かれた同好会的なチャネルも生まれています。

学園祭もオンライン上で実施。^{*3}「学生チーム」が講演会やゲーム等を企画・運営します。学生の声から生まれたオフライン交流会も、2025年度は全国3か所です。

また、通信制専任の就職担当職員を配置し、面接などを指導しています。スタンダードコースのスタディコーチも就活を支援します。オンデマンド授業の課題は、教育の質の担保です。現状でも授業中に10分間隔でクリア必須の小テストを行ったり、学生の視聴時間や質問の量を測定したりと工夫をしています。が、今後は卒業論文を課す、能力の伸びを多面的に測定するなど、学修成果の可視化に取り組みます。

「通信制だから学生が集まる」局面はすでに終わりました。蓄積してきた知見に基づく教育やサポート、企業連携で創出するオプショナルな体験さらに2026年度開設予定の^{*4}情報デザイン学部との連携などにより、managaraとしての個性を磨き、他校との差別化を図っていきます。

*1 以下、本ページ内では新潟産業大学経済学部経済経営学科通信教育課程を指す
*2 チャット機能を主とするコミュニケーションアプリ *3 managaraを学生の目線で盛り上げる学生コミュニティ
*4 2026年4月、事業創造大学院大学が開志創造大学に名称を変更し、ネットの大学managara内に情報デザイン学部を設置する

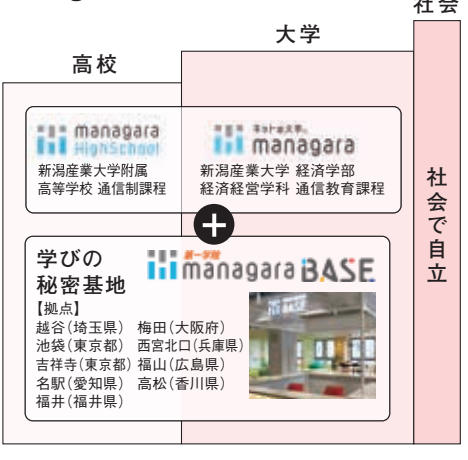
注目

附属高校に通信制課程を開設し 通信制による高大一貫の学びの実現へ

「managara」ブランドは、学士課程以外にも展開されている。「managara HighSchool」は、2023年、同大学の附属高校に設けられた通信制課程。ウィザスの第一学院高等学校は株式会社立であるためスクーリングが特区内に限られるが、学校法人が運営する同校は東京や大阪でのスクーリングが可能だ。両校とmanagara経済学部との連携により、通信制による7年一貫教育が実現した。ウィザスの高校・大学事業カンパニー長、阿野孝氏は言う。「高校でPBLを取り入れているが、高校を卒業できた生徒でも、PBLのプログラムを全て消化できたとは限らない。第一学院高等学校での学びの状況を経済学部と共有し、伸ばしきれなかった力を大学で磨き、社会に送り出したい」。

同じく2023年にウィザスが設置した「第一学院managara BASE」は、「通いの場」となるリアルな拠点。第一学院高等学校の生徒と、managaraブランド内の生徒・学生が、学校の学習、各種講座の受講、プロジェクト活動などを行う。年齢、所属校、就労経験等が異なる交流が、学生の刺激になっている。

managaraによる7年一貫教育



*大学資料を基にBetween編集部にて作成